

フランス視察報告 4 高齢の知的障害者入所施設について
——FAM Le Bois Clair (FAM ル・ボワ・クレール) ——



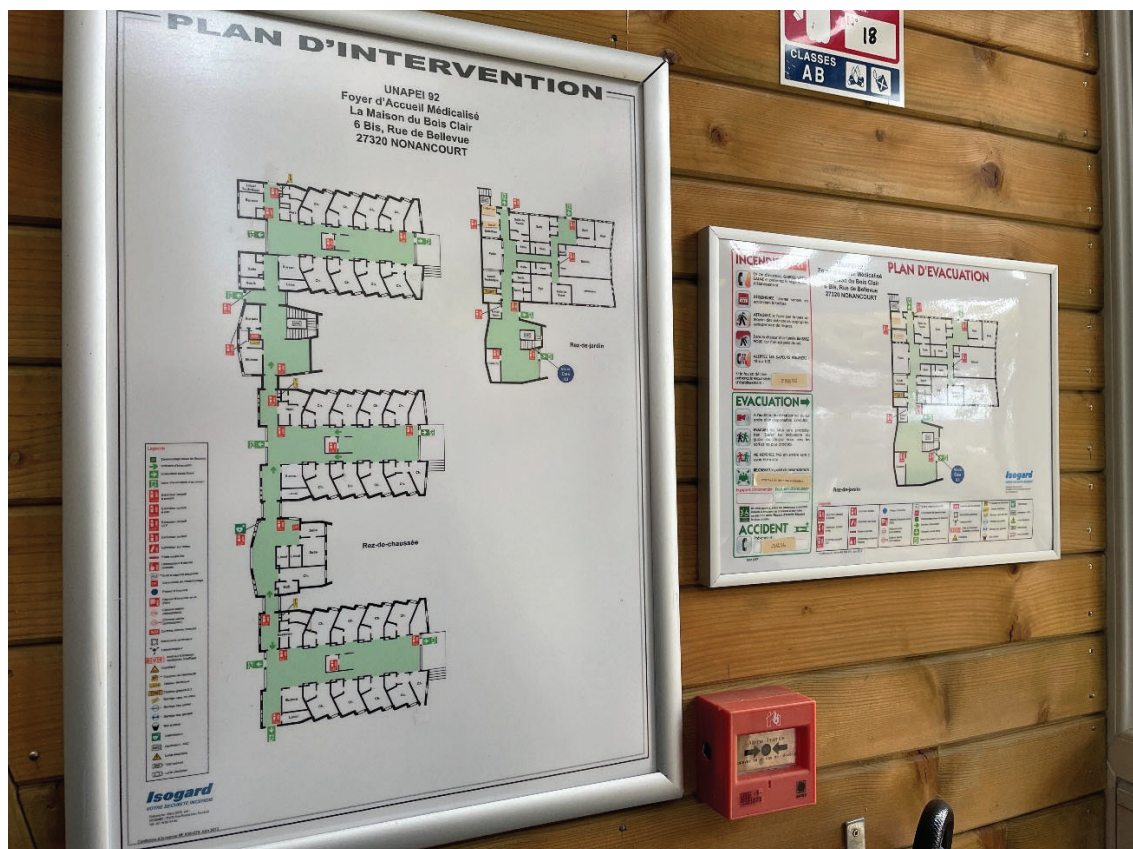
写真_Mengeot et associés Architecte: <https://www.mengeotetassocies.com/>

■視察の目的

海外では障害をもった子どもたちがどのような環境で暮らし支援されているのか。今回の視察先としてフランスを選択した理由は、マクロン大統領が、2020年の障害者に関する全国会議において国内の障害者支援を充実させることを約束し、いまが大きく変わろうとしている時期だからです。演説では毎年数百人もの障害を持った方々が他国に支援を求めて流出していることに触れ、国内で誰もが尊厳ある自由な生活を送れるようにすることを目標に掲げています。そのような中、フランスでどのような建物がつくられ、また運営されているのか、それを知ることを視察の目的としました。

■FAM ル・ボワ・クレールの概要

FAMとは成人障害者（身体・知的・精神障害）のための入所施設を指しています。生活全般に介助が必要で、かつ医療的支援も必要とする方が対象になります。今回の視察対象となったル・ボワ・クレールは、パリから西へ90km離れたノルマンディー地方にある2010年に竣工した木造の建物で、主に高齢の知的障害者を対象としています。居室数は25室ですが、3ユニット分棟型で計画され、住宅的な環境の実現が重視されています。居室は景観に配慮して配置され、また居室と共用部が隣接した計画になっており、日本のユニット型特養に近い形式になっています。



■視察内容報告

視察では、実際に建物を設計した Mengeot et associés Architecte (★01) の代表に案内していただきました。

(1) 外観

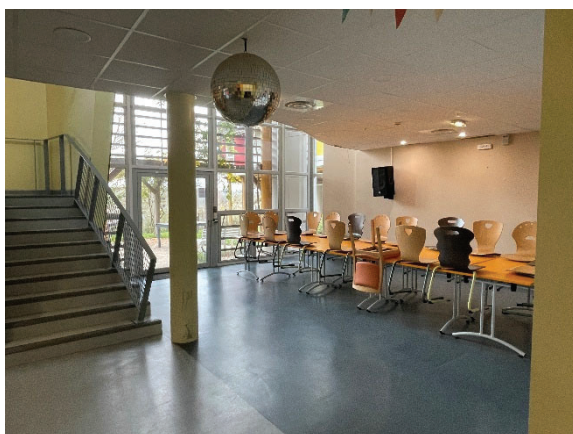


外観では様々な色が使われています。これは、居室ごとに色が区別されたもので、外から見たときに自分の部屋がどこにあるかが一目でわかるように意図されています。



建物は斜面地に建てられていますが、3つのうち2つの居住ユニットの下（地階）には屋外テラスが計画されています。高齢化がいつそう進み、現状ではあまり使用されていないようですが、この地方では雨が多く屋外に出られるように配慮して計画されました。

（２）地階（食堂・リハビリスペース）



地階部分には共有の食堂があります。各ユニット内にも食事をするスペースはありますが、ここは気分を変えて食事をしたり、カフェをするスペースとして使われます。この食堂は、上のエントランスホールと吹抜けでつながりつつ、屋外テラスに面しており、開放的な空間となっています。



ほかにも地階にはリハビリ部門があります。大きなプールが設置され、必要な人は移乗装置を使って入り、運動療法士とともにリハビリを行ないます。すこしでもそれを楽しいものとするために、建築的な配慮として大きく開いた窓が設けられています。

ここまで見てきたように地階部分は上階と比べて活動的な場所として計画されています。

★01 Mengeot et associés Architecte : <https://www.mengeotetassocies.com/>

(3) 地上階（居住者ユニット）

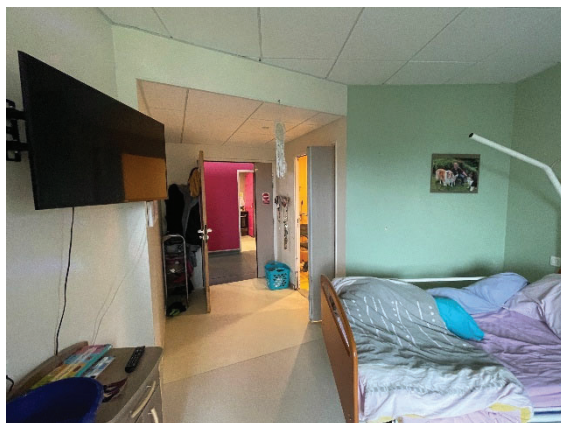
■共用空間



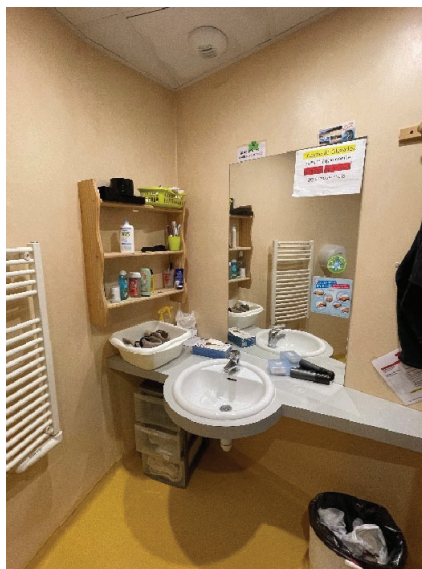
各居室はひとつの共用空間（便宜上、共同生活室とする）に面して配置されています。この配置の仕方はフランス国内ではまだほとんど見かけないタイプだとのことでした。共同生活室は、キッチンのボリュームによって、平面計画上緩やかに分割されています。当初、これらはリビング・ダイニング、創作活動などに取り組むワークスペースとして分けて使うことを想定していました。しかし、いまはほとんどの入居者が車いす利用者になったため手狭になり、リビングとダイニングの2つに分けて使われています。この時期はクリスマスだったため、リビングの方では、手作りのクリスマスツリーや暖炉で飾り付けられていました。ダイニングでは、敷地外にある給食施設でつくられた食事が配食され、ユニットのキッチンで温め直されて提供されます。

共同生活室の端部は外部に向けて大きく開かれ、採光と眺望に配慮されています。中央部分においても、ハイサイドライトによって空間全体が明るさに包まれています。

■居室

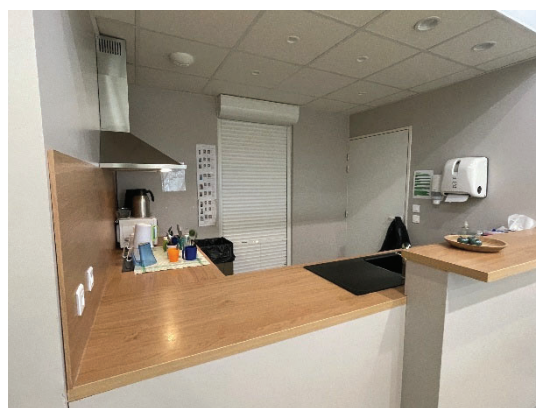


見せていただいた居室は、入居者の家具や小物で飾り付けられていました。居室の形状は「く」の字に曲げられ南側を向き、身体が動きづらくなりベッドで寝ていても、窓からは眺望や自然光が得られ、居室出入口からは共同生活室の様子がわかるように配慮された計画になっています。



各居室内に洗面台、トイレ、シャワーの水回りがついています。ビニル床材の巻上げ仕様に壁はポリレイと呼ばれるシートを貼って防水に配慮した設計になっているとのことでした。食事をつくること以外の機能は居室内に備えられていました。

■その他のユニット



内部の雰囲気はひとつめと異なりますが、各ユニットの職員らの考えで飾り付けの方針を決めているようです。内装改修が行われた時も同様に、壁の塗装色は各ユニットで異なっていました。

